

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA IWAKI

9月号／2012年9月1日発行

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

8月21日(火)
18:30～

8月通常例会

○会場/いわき建設会館

テーマ 「いわき市の立場から見たいわきの復興について」
講 師 いわき市副市長 鈴木 英司氏



【いわき経済同友会寺主代表幹事挨拶】

先月7月の例会では、以前いわき市副市長であり、現福島県の商工労働部部長であります伊東正晃氏にお出で頂き福島県としての復旧・復興にどのように取り組んでいるか、福島県としての方向性について勉強をいたしました。本日は、鈴木英司現いわき市副市長をお迎えし、いわき市の立場から復旧・復興のお話を頂き勉強をしたいと思います。

【鈴木英司いわき市副市長の講演】

こんばんは、私は昭和49年いわき市役所に入りまして、今年で60才になります。38年間公務員として勤めてまいりましたが、いわき市に対しまして、これが最後のご奉公だという気持ちで毎日仕事をしております。

いわき市をどのようにして以前のように戻すか、ま

た以前よりも、もっともっと元気のある市にする為に、少しでもお役に立てればと考えています。

◆誕生日プレゼント
ボーッズが贈られました。



左から寺主君男代表幹事、小沼郁互さん(8月10日生)



いわき副市長
鈴木英司氏

さて復旧・復興ですが、市民の皆さんの中から見れば『ぜんぜん進んでない』が大方のご意見だと思います。私も被災3県の中で一番早いのは宮城県、次に岩手県一番遅れているのが福島県だと感じております。

これは偏に原発事故の為だと言えますが、その遅れている福島県の中で復旧・復興の先頭を走っているのがいわき市だと思います。また、そう言う自負心を持って仕事をしなさいと常々職員に話しているところです。

いわき市の被害状況

○いわき市的人的被害	……………	430名
○建物被害	全壊	7,863棟
	大規模半壊	7,219棟
	半壊	24,990棟
	一部損壊	49,372棟
		約90,000棟
○り災証明発行	……………	約95,000件

いわき市復興事業計画

復興ビジョン

平成23年10月1日

(復興に向けた基本方針や主要な施策)

復旧計画

(復旧までの作業工程)

平成23年度から25年度まで
の3年間で

復興事業計画

(復興ビジョンに基づく
具体的な取組み)

平成23年度から27年度まで
の5年間で

いわき市復旧計画の進捗状況の概要

- 復旧計画の平成23年度末の総括として進捗状況は約7割程度(「やや遅れ」)
- 要因は、国の災害査定の遅れ、新たな工事等の発生、入札不調など
- 今後は、平成25年度末での復旧完了を目指し、復旧を加速化

この頃は復旧・復興の仕事が重なってきているのでなかなか目に見えにくいと思いますが、全力を傾注して

やっております。そして国からも相当のお金が入っております。大盤振る舞いと言える程いろいろな名目でお金が出ています。現民主党政権に皆さんもご意見がおありでしょうが、私はこの点を高く評価しております。まあ、それで消費税の法案を通したのでしょうかね。結局、最後は国民が負担するということです。

■ 復興に向けた取組

1 被災者の生活再建

被災した市民一人ひとりに寄り添い、住まいと暮らしの再建や案亭に向けた総合的な取組を進めます。

2 生活環境の整備・充実

医療・福祉体制の強化、子育て・教育環境の整備、地域力の強化など、安心して暮らすことができる整備・充実や災害対応力の強化に取り組みます。

3 社会基盤の再生・強化

災害に強い社会資本を整備するとともに、被害の大きかった沿岸域等について地域特性に応じた再生を図るなど、市民生活に密接に関連する社会基盤の再生・強化に取り組みます。

4 経済・産業の再生・創造

市民の暮らしの基盤であり、都市の活力の源である地域経済の再生復興を図るために、農林水産業の再生はもとより、地域企業の経営再建や新たな産業の創出などに取り組みます。

5 復興の推進

国・県等との強化するほか、復興に必要な組織の見直しや財源の確保等に取り組むなど、復興を推進するために必要な体制の構築に取り組みます。

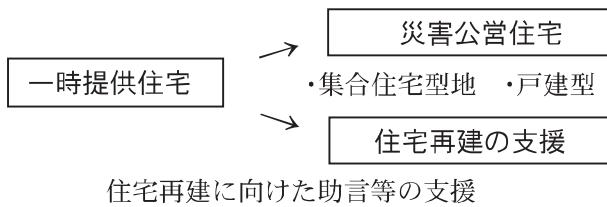
重点施策

1 津波被災地域の復興に向けた土地利用プロジェクト

地区	土地利用方針	
久之浜	未統	防災集団移転(一部区域は現位置復興)
	金ヶ沢	防災集団移転
	久之浜市街地	土地区画整理募集/防災集団移転(国道より海側)
	田之網	防災集団移転(一部区域は現位置復興)
四倉	四倉	現位置復興
平	沼ノ内	現位置復興
	薄磯	土地区画整理募集/防災集団移転
	豊間	土地区画整理募集/防災集団移転
小名浜	走出	防災集団移転
	江名港	現位置復興
	折戸・中之作	防災集団移転(折戸の一部)、現位置復興
	永崎	現位置復興
	下神白	現位置復興
勿来	小浜	土地区画整理募集/防災集団移転
	岩間	土地区画整理募集/防災集団移転
	錦町須賀	防災集団移転(一部区域は現位置復興)

沿岸域復興の全体方針もでき、国からのGOサインもでています。

2 災害公営住宅の整備プロジェクト



3 心のケアプロジェクト

4 原子力災害対策プロジェクト

放射能に対する市民の不安を解消するため、モニタリングの充実・強化を図り、放射線量を低減させる除染を推進するとともに、市民の健康管理の取組みを推進します。また、一刻も早い収束や確実な安全対策に向けた取組と風評の払拭、確実な損害賠償の実施に取組みます。

組みます。

- 5 小名浜港周辺地域の一体的な整備・再生プロジェクト 物流の拠点である小名浜港の再生はもとよりいわきの復興のシンボルとしての小名浜港周辺地域の整備・再生に取組みます。
- 6 再生エネルギーを核とした産業振興プロジェクト
- 7 既存地域産業の再生プロジェクト
- 8 企業誘致対策プロジェクト
- 9 被災地自治体との連携強化プロジェクト

ご講演の後、会員の皆さんからの質問を受けられました。鈴木副市長のお話は震災後1年半を経過し、氏が経験した具体的な例を交え、とても分かりやすい講演となりました。

8月グループ会報告

経済特区研究グループ会

■日 時 8月30日(木曜日)18:00~

■場 所 イタリアンコート

8月度のグループ会は納涼会を開催。グループメンバーの懇親をはかった。芳賀グループ長の挨拶と鈴木会員(正月荘)の乾杯でスタート。

それぞれの情報交換を行った。話題は仕事と行政・国際問題と豊富でありました。

特に仕事では原発問題による影響などが各者大きな課題をいまだ抱えていることがわかりました。話題は尽きない中で2時間があつという間に過ぎてしまいました。

普段はゆっくり情報交換ができませんが参加者全員楽しく過ごすことができました。



まちづくり観光グループ会

■日 時 8月29日(水曜日)18:00~

■場 所 ワシントンホテル椿山荘

納涼会を兼ね8月グループ会を開催。はじめに、今後のグループ会活動について検討。9月末を目途に観光特区(カジノ)協議会を設立。前回の勉強会に続き市内関係団体を招き、国の諮問会議講師をお呼びし、勉強会を開催。勉強会終了後お集まりいただいた各団体を中心に協議会設立。商工会議所とは連絡調整済。10月神奈川県熱海市で開催のカジノサミットへオブザーバー参加も検討。今後は協議会中心に活動予定。なお、11月にスカイツリー見学と周辺商店街視察を予定。その後、懇親納涼会に移行し、情報交換。

スポーツ交流グループ会

■日 時 8月24日(金曜日) 19:00~

■場 所 ホテルいづみや

スポーツの秋を直前に控え、夏の疲れを癒しながら会員相互の親睦を深め、残り7か月の事業についての意見交換なども行った。何かと忙しい時期ではあったが、多くのメンバーの方が出席する事ができ、非常に有意義な時間を過ごす事ができた。



資質向上グループ会

■日 時 8月29日(水曜日)
■場 所 磐勘 田町

- 平成24年度前半のグループ会活動について意見交換を行う。
- ・平成24年度上半期のグループ会活動の問題点は特に無し。
 - ・活動日については、出来るだけ土曜日を希望する。
 - ・平成24年度下半期のグループ会についても、出来るだけ移動例会を希望する。
 - ・NTT東日本一福島 馬場支店長参加あり、各会員と名刺交換あり。
 - ・松崎副代表幹事の発声により、懇親会に入る。



FMいわき「いわき経済同友会だより」

- ・9月3日 まちづくり観光グループ会 佐藤淳氏
- ・9月10日 まちづくり観光グループ会 馬場学氏

いわきブランド研究会

■日 時 8月1日(水曜日)16:00～
■場 所 レストラン銀の糸

第2回カジキ料理コンテスト反省会

去る7月19日第2回カジキ料理コンテストが盛況のうちに幕を閉じました。

この度のコンテスト終了後、なるべく速やかに当初の最終目的であるカジキグルメマップの作成検討会を致しました。

今回はコンテストに参加されたレストラン銀の糸さんに場所をお借りし反省会を兼ねての開催となりました。主な議題は下記の通りです。

1. 第2回カジキ料理コンテストの反省
2. カジキ料理グルメマップの作成について
3. TV放送DVD作成について
4. 収支状況について
5. 作品の事業化について
6. オープン試食会について

9月の
グループ会
ご案内

- 経済特区研究グループ会／未定
- まちづくり観光グループ会／10月1日(用) AM17:45～
場所 建設会館5階 観光特区(カジノ特区)について、国の諮問会議講師をお呼びし、勉強会を開催。
講師:みづほコーポレート銀行調査部 沢井篤生氏
テーマ「統合型地リゾートの創設に向けて日本におけるカジノ導入の可能性について」
- スポーツ交流グループ会／9月19日(水) AM8:32 スタート
『遠征ゴルフコンペ』(会員交流委員会合同事業) 場所 ボナリ高原ゴルフクラブ
毎年恒例となった会員交流委員会との合同事業で、全会員対象のゴルフコンペを開催し会員相互の親睦を図る。福島県を代表する名門コースである「ボナリ高原ゴルフクラブ」にての遠征コンペとする。
- 資質向上グループ会／9月29日(土) AM8:00～ 福島・山形方面
文化財を観る・聞く・触れ感じ、会食をしながら意見交換をする

【9月予定放送】

- 毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)
- ・9月17日 資質向上グループ会 幸 英治氏
- ・9月24日 情報委員会 坂本 和久氏

●9月納涼例会開催●

9月20日(木)

■会場/スパリゾートハワイアンズ

■会費/5,000円

■18:15～例会 18:30～納涼親睦会 20:30～フラガールステージ鑑賞

いわき経済同友会
ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
<http://www.seaiwaki.jp>
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 坂本和久
副委員長/小野英典・鈴木清友・
竹下康照
委員/山崎勇一郎